



公式ホームページ
日々の活動発信中

今沼田をひとつに!

<https://minoru-numata.com>



ほしの
**星野
みのる**

● 地域主体のまちづくり

▷ 未来をつくる教育・文化・交流の推進

● 女性・若者の活躍推進

▷ 仕事・子育て支援と子どもたちの未来を応援

● 安心安全なまちづくり

▷ 子どもからお年寄りまでみんなにやさしい暮らしの実現



● 地場産業の活躍推進

▷ 稼げる農・林・観光業の実現

● デジタル化推進拠点の整備

▷ 学び・仕事・暮らしの可能性を広げる

● 市・県・国の連携強化

▷ 強い地域経済の確立と雇用の創出

『市民の想いがみのる』『持続可能な沼田市』に!

子育て世代・次世代の育成が急務
お金がかかるところに注力
予算配分の重点化

子どもファーストで行く!人口減を止めます!

● 子育て世代・次世代育成を応援

産前・産後も安心できる子育て世代・次世代育成へ
不妊治療への上乗せ補助の実施、子どもが生まれるたびに補助の拡充・強化
学校給食の無償化・高校までの学費無償化、生活中心部での住宅(土地・建物)の提供
地域運営組織(RMO)を浸透、70歳以上の医療費補助

● みんなが住んでくれる街の創出

減少を止め
人口増加へ

次世代の移住・定住を促進
子育て世代・次世代育成に
「やさしい政策」
地元での消費行動の活発化
少子高齢化等 社会課題の
解決の突破口に

将来の
税収増へ



沼田の資源を 経済 生かして 政策

森林文化都市としてのサーキュラーエコノミー実現のための工場設置
ふるさと納税制度も活用拡大 サークュラーエコノミーとは「循環経済」のことを指します
デジタル化を推進し、地元のお店の販路をメタバースにも創設

市長報酬半分にします

沼田の魅力を集結

アスレチック×リモートワークセンター×特産品ブランディングを見据えた販売・
プロモーション・発信拠点×高速バスターミナルを一体化した施設を創設
観光政策(アフターコロナへの対応も含めて)
吹割の滝 観光演出×高速バス「尾瀬号」通年化
河岸段丘のトレーニング合宿活用(展望台を権坂に)
沼田城址公園における沼田城建築とそれまでの映像を駆使した演出 等

(仮称)まちづくり プロモーション課の創設



しまだ
康弘
やすひろ

めまたの「新しい時代」を一緒に創ろう

<https://shimada-yasuhiro.com/>

しまだ康弘Info

星野たえこが皆さんと一緒に 沼田市を前に進める7つのコト。



1. 公正公平な市政運営
2. 感染症対策が常に講じられる新たな社会基盤の構築
3. 新しいカタチでの農林畜産業、地域産業への支援強化
4. 沼田で育つ子ども達皆に質のよい環境を **給食無償化を実現します!**
5. 心配なくゆっくりと将来が迎えられる安心な地域づくり
6. ふるさと沼田が皆に愛し愛され共に生きる街へ
7. 利根沼田広域圏～風の谷～で叶える新しい地域創造

星野たえこプロフィール

- 1957年 | 昭和32年 9月20日 沼田市材木町生まれ
- 1970年 | 昭和45年 沼田東小学校卒業
- 1973年 | 昭和48年 沼田中学校卒業
- 1976年 | 昭和51年 沼田女子高等学校卒業
- 1977年 | 昭和52年 東京ビジネス専門学校卒業～アメリカ留学
- 1981年 | 昭和56年 東京ビジネス専門学校研究科卒業
- 1981年 | 昭和56年 (株) JAL グランドサービス入社
 - ▶ 成田空港国際線勤務
 - ▶ 羽田空港業務部勤務 (新入社員研修教育)
- 2015年 | 平成27年 沼田市議会議員選挙に立候補～初当選
- 2019年 | 平成31年 沼田市議会議員選挙で再選
- 2022年 | 令和4年2月 沼田市議会議員を辞職 | 2期7年

地域活動など

- ぐんま女性議員政策会議副会長
- 国際ソロプチミスト利根めま会長
- 地域と国をつなぐ乳がん子宮頸がん検診促進サポーター
- 全国災害ボランティア議員連盟
- 災害ボランティアぐんま会員
- 群馬県立沼田高等学校 PTA 副会長、評議委員を歴任
- 防災士 ▶ ピンクリボンアドバイザー中級
- 文部科学省後援健康管理能力検定1級



星野
たえこ



地域資源

社会

高齢者

産業

教育

感染症対策

DX

子育て

観光

医療・福祉

共生社会

防災

人口減少